

2023～ 社会福祉原論	単位数	履修方法	配当学年
	2単位	SR	1・2年
	担当教員	田中 治和	

※この科目は、2023年度以降入学者に対して開講されている科目です。2022年度以前入学者は履修できません。

■授業のテーマ

社会福祉学批判—社会福祉学と社会福祉実践への根源的問いかけ

■授業の目的

社会福祉学を人間と社会を対象とする学問分野と指定し、社会福祉学研究及び実践に関する用語や術語の吟味・再考を目的とし、多角的かつ批判的に考察します。

■授業の到達目標

社会福祉学研究と社会福祉学実践の本質を問う観点（立場）について、各自がその仮説提示をすることができます。

■授業の概要

社会福祉学研究、及び社会福祉学実践の根源的課題について考究します。“社会福祉”は、歴史的には、(日本に限定しても) 慈恵、慈善事業、感化救済事業、社会事業、及び厚生事業等も名称変更を経ながら、現在の社会福祉に至っています。その過程では、“社会福祉”は社会政策や社会保障、更には、公的扶助との概念が交錯、あるいは相互関連しながら、一見わかりやすく(例えば、人間の幸せ等という言説)、されど説明し難い概念と言えます。

さらに社会福祉士等の国家資格化とそれへの対応としての社会福祉教育は、社会福祉事象に関する知識が標準化され、実習・演習の一定の質の向上があったと評価できます。しかし、国家試験が学部教育においては、結果として用語・術語の学習に留まる状況があり、研究面では、とりわけ本質的考究を目指す研究の低迷・停滞は当然の帰結といえるかもしれません。

この授業のオンデマンドにおいては、社会福祉学研究、及び実践のキーワード的な用語・術語の考察、つまり再考・再吟味を主に拙稿(担当教員の論文)を用いて論述し、各自がそれを批評する内容とします。

また対面では、「社会福祉の人間観」に関する拙稿(担当教員の論文)を用いて、合評(参加者で感想や意見交換等)することとします。以上を通して各自の社会福祉観の仮説提示に繋がるのが目的です。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	社会福祉原論とは	原論	なぜ社会福祉実践と社会福祉学研究に「社会福祉原論が必要なのかを考えてください。
2	社会福祉に学問は必要ですか?	学問、学ぶとは	社会福祉実践において、なぜ学問が必要なのか?利用者にとって意味があるのかを考えてください。
3	高齢者観再考	高齢者、老人	高齢者と老人の違いは、何でしょうか、考えてください。
4	障がい者観再考	しょうがい	障がいをどのように表記しますか、考えてください。
5	自立支援の意味を再考	自立、支援、専門性	自立とは何か?ご自身は自立されていますか?支援と援助の違いは何でしょうか?そもそも専門性とは何を指していますか?
6	「利用者本位」再考	利用者、患者、被保護者	「利用者」とは誰を指していますか?「利用者は、自分自身を利用者」と捉えていますか?考えてください。
7	レポート課題1の作成(その1)	先行研究	レポート課題1の作成を目指して、先行研究を蒐集してください。

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
8	レポート課題1の作成(その2)	推敲	レポート課題1の作成を目指して、推敲してください。
9	必読図書を読む①	精読	岡村重夫先生の文献の【序にかえて・第1章1.2.】を読み込んでください。
10	必読図書の読む②	精読	岡村重夫先生の文献の【第1章3.】を読み込んでください。
11	必読図書の読む③	精読	岡村重夫先生の文献の【第2章】を読み込んでください。
12	必読図書の読む④	精読	岡村重夫先生の文献の【第3章・第4章】を読み込んでください。
13	必読図書の読む⑤	精読	岡村重夫先生の文献の【第5章・第6章】を読み込んでください。
14	レポート課題2の作成(その1)	先行研究 省察 内省	レポート課題2の作成を目指して、先行研究を蒐集してください。またこれまでのご自身の経験等を振り返ってみてください。
15	レポート課題2の作成(その2)	推敲	レポート課題2の作成を目指して、推敲してください。

■スクーリング事前課題（学修時間目安：4時間以上）

社会福祉学研究における、現時点での各自の研究課題に関する先行研究を蒐集し、なぜそれを研究課題とされたかを今一度問い直されてみてください。提出は、スクーリング開始日までを目処とします。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	社会福祉原論とは何か。	オンデマンド
2	社会福祉学研究の「学問」とは、実践になぜ「学問」が必要なのか。	オンデマンド
3	高齢者観再考。	オンデマンド
4	障がい者観再考。	オンデマンド
5	自立支援の再吟味。	オンデマンド
6	「利用者本位／相手の立場に立つ」は可能か、またその方法は…。	オンデマンド
7	「社会福祉の人間観に関する批判的考察」の合評会①	対面
8	「社会福祉の人間観に関する批判的考察」の合評会②	対面
9	「社会福祉の人間観に関する批判的考察」の合評会③	対面
10	「社会福祉の人間観に関する批判的考察」の合評会④	対面

■スクーリング事後課題（学修時間目安：4時間）

スクーリングで学ばれたことを機縁とされ、社会福祉原論に関する先行研究、並びに各自の人生経験（仕事や日常生活全般を通して※福祉の仕事に限定していません）等をも振り返りながら、自らの社会福祉観をまとめてみてください。

■レポート課題

課題1 (事前課題)	現代社会における社会福祉学研究の課題の一つ取り上げ、それを論評してください。
課題2 (事後課題)	自らの実践、経験を含め、あわせて社会福祉学の先行研究を援用しながら、自らの社会福祉観の仮説を提示してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

課題1 アドバイス

現代社会の諸問題のうち何を社会福祉学の課題とするのか、否か、が社会福祉学を研究する上で、重要な分岐点となります。(とても難しいことですが) 広く社会状況の変貌と諸科学の動向をも概観しながら、社会福祉学の対象を見つけてください。何を「社会福祉学の対象とするか?」、その問いを自らが見出してください。ご自分の研究課題(修士論文のテーマ)とも関連しながらまとめることをお勧めします。

課題2 アドバイス

社会福祉学を学ぶために最も重要な社会福祉観を借りものではなく、自らのものにするために、ご自分の経験を大切にしながら、また、あわせて先行の理論研究も学びながら、できうだけご自分の言葉で述べてみてください。

■評価の方法・基準

スクーリング70%、課題レポート30%とします。

■参考文献(*印=大学から送付される必読図書)

*1) 岡村重夫『社会福祉原論』(全国社会福祉協議会、1983年)は、“社会福祉原論”研究の古典的名著『全訂 社会福祉学(総論)』1968年を要約した完成版といえます。

この機会に、是非ともこの文献に当たってください。国家試験を前提としているいわゆる教科書と違い少し難渋するかもしれませんが、それも学問的営為の一環と思われてはいかががでしょうか。優れた文献を読むことは、優れた論文を書く力を必ず育ててくれますので…。

その他参考文献は、オンデマンド時に配信しますレジュメ(拙稿)に記載しております。